maiko violin
田中信正 piano
坂井紅介 contrabass

2023 02月15日（水）
開場　19:30
開演　20:00
（2ステージ入替無）（1drink=600～）
MC=3700＋2drinks order

CAFE BEULMANS
世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城２F
03-3484-0047
mail : info.cafebeulmans@gmail.com
メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。

田中信正

1968 年横浜生まれ。4 歳より電子オルガンをはじめ、16 歳でクラシックピアノに転向。国立音楽大学作曲学科中退。クラシックピアノを小灘裕子、ジャズピアノを藤井英一、橋本一子、佐藤允彦 各氏に師事。1993 年横濱ジャズプロムナード第一回コンペティションで、グランプリ及び個人賞ベストプレイヤー賞受賞。共演者と創り上げる自由で即興性に富んだ演奏活動は、JAZZ のフォーマットばかりではなく多岐に渡る。現在は、数多くのユニットのメンバーとしてライブやレコーディングに参加している。ピアノトリオの範疇を超えた自己のユニット「田中信正 KARTELL（山田晃路 b、大槻カルタ英宣 ds)」と、オリジナルと独創的なアレンジによるソロピアノは、比類なき唯一無二の演奏として評価が高い。2010 年より酒井俊ユニットのベトナム公演に度々参加、林正樹 (pf) との Piano duo「のぶまさき」で 2012 年にはパリ・アンカラ・イスタンブール公演を、2013 年には韓国公演をおこなった。2014 年からは超弩級ユニット「田中信正トリオ作戦失敗（落合康介 b､橋本学 ds)」を始動、2018 年 10 月､「田中信正トリオ作戦失敗」による第二作 CD「キティ組曲」をリリース。
2022 年 3 月には、三作目となるソロピアノアルバム「PROLOGUE Plays Toshihiko Inoue」をリリースした。

maiko

神戸市出身。3 歳からバイオリンを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。1999 年 4 月､上京。ジャズバイオリニスト寺井尚子氏のライブに通いつめ、アドバイスを頂きながらジャズバイオリンの研さんを始める。1999 年 12 月、第 19 回浅草 Jazz コンテストでベストプレイヤー賞を受賞。2001 年 10 月、横濱ジャズプロムナード、ライブ・コンペティション本選大会で向井滋春賞を受賞。そのリリカルでハートフルなプレイは、わが国ポピュラーバイオリンの第一人者中西俊博氏も絶賛。バーカッションの横山達治バンドに 2004 年 11 月～ 2007 年 9 月まで在籍。2001 年からの 8 年間で 2,000 回を越えるライブ・パフォーマンスを行い、自己のスタイルを確立する。2009 年 9 月、洗足学園音楽大学ジャズコース非常勤講師に就任。ビバップ、スウィング、ECM、フュージョン、ラテンと幅広いジャンルにおいて、音色の美しさと熱い演奏が身上。コンポーザーとしての才能も高く、歌心あふれるオリジナルナンバーは好評を博している。スタジオや CM、イベント・パーティ等での演奏、学校公演、病院・施設でのボランティア演奏等、表現者としてさまざまなシチュエーションでのパフォーマンスを精力的に行う。また、自身が阪神・淡路大震災を被災した経験から、気仙沼や陸前高田等、被災地へボランティア演奏に赴いている。

坂井紅介

ハンク・ジョーンズ、ジョー・ヘンダーソン、ヘレン・メリル、ミッシェル・ルグラン、エグベルト・ジスモンチ、スティーブ・ガッド、日野元彦、など世界のジャズ界をリードするミュージシャンと共演。幅広い音楽性で多くのアーティストに招かれ、国内外のユニットに参加。演奏の場は米国や欧州だけでなく、アジア、アフリカにも及ぶ。自己のグループで 1993 年より名古屋芸術創造センター、2000 年にカザルスホールにおいてコンサート。作曲にも才を発揮し、映画、テレビ、舞踏、アーティストのＣＤに作編曲を提供するなど、活動範囲は広い。1997 年 5 月、全曲オリジナルのリーダーアルバム「ＴＲＩＰトリップ」をリリース。現在、自己のグループやソロベース活動の他、土岐英史、などのステージで活躍。横浜在住。